

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)メイツ千葉計画 新築工事	階数	地上16F
建設地	千葉県千葉市中央区新田町161-2	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	520 人
地域区分	6地域	年間使用時間	6,240 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2024年2月20日
敷地面積	1,520 m <sup>2</sup>	作成者	渡邊 基弘
建築面積	888 m <sup>2</sup>	確認日	2024年2月21日
延床面積	10,792 m <sup>2</sup>	確認者	渡邊 基弘



さい

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.8

**LR のスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>		<b>その他</b>
省エネルギーや環境負荷の軽減を考慮しつつ、敷内に防犯や利便性、室内の快適性に配慮した計画としている		・複層ガラスを採用し、断熱性、防犯性、結露予防などに配慮している
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
・戸境壁は木軸下地二重壁を採用し、Dr値50を目標値として設定 ・F★★★★を床、壁、天井、天井裏の面積の70%以上に採用	・住宅性能表示基準劣化対策等級3を取得予定 ・各住戸に1Gbitクラスのブロードバンドが利用可能	・自治体の景観計画に適合した彩色とした
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
・住宅性能表示基準断熱等性能等級4を取得予定 ・潜熱回収型給湯器を採用 ・LED照明設備を採用	・二重壁・二重天井を採用し、資源の再利用に配慮している	・ディスプレイシステムを採用

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される